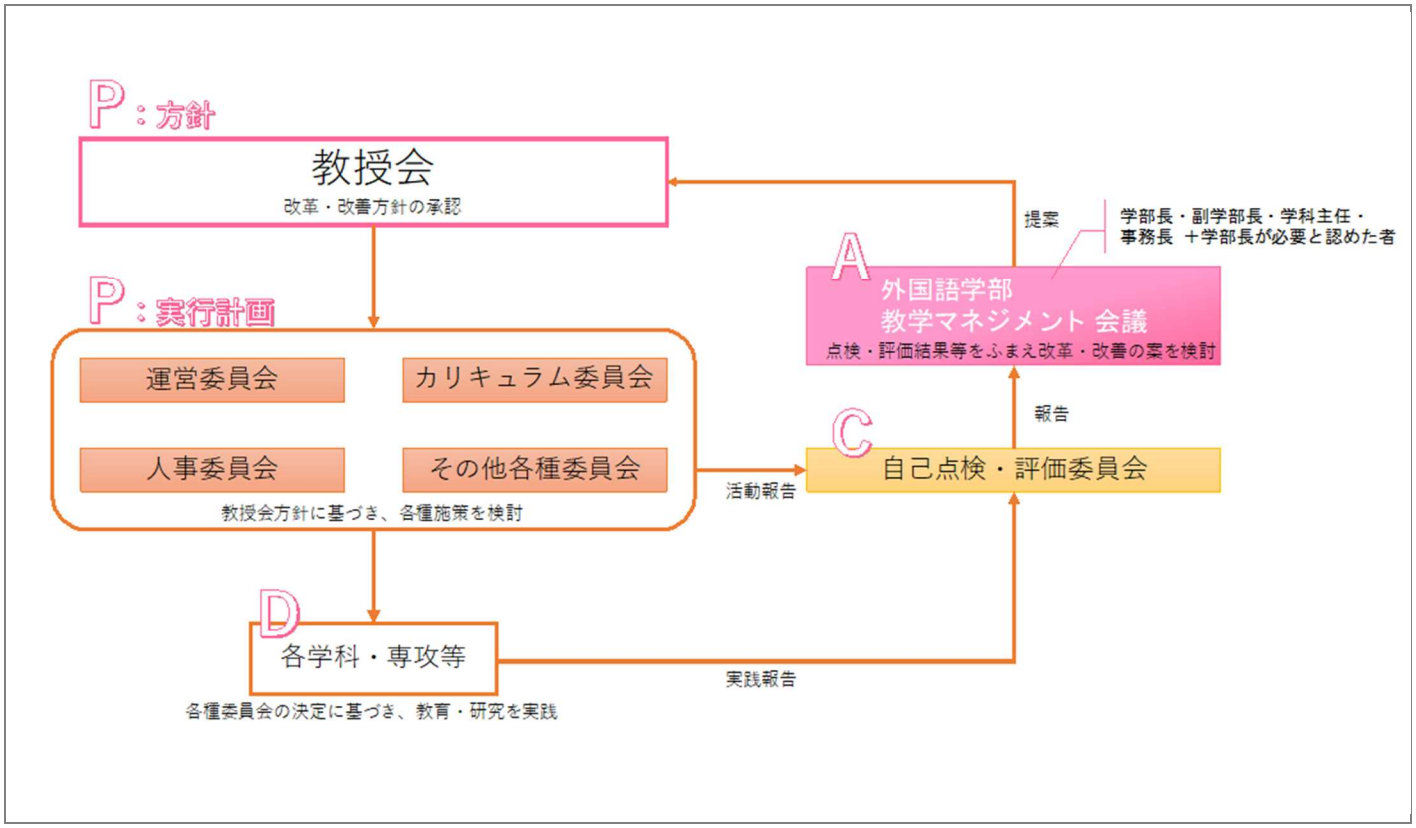
【外国語学部】2024（令和６）年度 学部教学マネジメント計画書

３つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

１.学部における教学マネジメントの組織体制



２.体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題
①カリキュラムマップ 主要授業科目・アセスメント科目の設定を踏まえたカリキュラムマップの検証、見直し等の検討が必要である。
②シラバス 主要授業科目・アセスメント科目の設定を踏まえ、カリキュラムマップで定めた各授業科目の「身につく資質・能力」とシラバスとの整合性を再確認する必要がある。
③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等） 特になし
今年度の取り組み
主要授業科目・アセスメント科目の設定を踏まえたカリキュラムマップの検証、見直しを行うとともに、各授業科目の「身につく資質・能力」とシラバスとの整合性を再確認し、必要に応じてシラバスの修正を行う。

３.学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題
学部内の各種会議体のそれぞれが PDCA サイクルにおいて行うべき作業内容が具体化されていない。
今年度の取り組み
「自己点検・評価委員会」が担うことになっている C の具体的な作業内容を明確にし、PDCA サイクルの円滑化を図る。

４．授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題	
・1 年次後半から 2 年次にかけて、専攻言語の学習意欲の低下が見られる。（学部内アンケートより） ・学年末の GPA の平均値、及び中央値がここ数年低下傾向にある。（教学 IR データより）	
今年度の取り組み	
外国語学部に入学する学生のニーズ、レディネス、及び外国語学部に求められる社会ニーズの把握に努めるとともに、それらに合わせた授業科目の見直しや各授業科目での到達目標の設定を検討する。	
アセスメントプランの取り組み	
アセスメント科目名	検証方法（在学時）
【英語学科】 ・Intensive English(A/B/C)Ⅳ ・英語研究演習Ⅳ/English Research SeminarⅣ 【ヨーロッパ言語学科】 ・専攻ドイツ語Ⅳ/専攻フランス語Ⅳ/専攻スペイン語Ⅳ/専攻イタリア語Ⅳ/専攻ロシア語Ⅳ ・ヨーロッパ言語研究演習Ⅳ 【アジア言語学科】 ・専攻中国語Ⅳ/専攻韓国語Ⅳ/専攻インドネシア語Ⅳ ・アジア言語研究演習Ⅳ	☐　外部アセスメントテスト（GPS アカデミック） ☐　学習成果実感調査 ☐　GPA ☐　在学生調査（在学生活に関するアンケート） 検証方法（卒業時） ☐　GPA ☐　卒業時調査（4 年次生調査）
取り組み内容（「8 つの資質・能力」の達成方法など）	
学部改革を念頭に、社会ニーズに合わせた新たな手法を用いる授業科目の新設や既存科目の改善などを積極的に行う。	
その他	
特になし	

※この内容は 2024（令和６）年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。